

不公平感のない地域振興策を



16 番
二村勝己議員

広大な下呂市、それぞれの地で先祖代々家を守り、地域を守り、地域発展のために努力をされてきました。今後の取り組みは**地域振興策**について

①地域間に不公平感のない施策、少子高齢化が進む中での具体的な振興策は

◆副市長

少子高齢化が進む中で、不公平感の無い施策を進めるのは難しいです。地域の皆さんが自分の地域をどうして行くのかを考え、行政と協力していくことです。中心部での施策に不公平感があるが、地域でも資源を活用し地域振興を進めていただき、市も協力していきます。

◆建設部長

道路は生活基盤であることから山間部でも必要性は認識しているが、限られた予算の中で十分整備が出来ていないのが現実です。

観光対策について

①岩屋ダム湖の活用

◆観光商工部長

湖面利用するため、中部電力や水資源機構と検討中です。詳細なルールづくりができれば、河川管理者と協議をします。観光計画馬瀬実行委員会でも協議したい。

②遊漁者は観光客なので、漁業組合を観光商工部の所管とすべきでは

◆農林部長

県の水産振興室は農政部に属しているので、農林部所管としたほうが県との連携が取りやすいと思います。今後は、3つの漁協や観光商工部などと連携し、豊かな自然や清流の維持などに努めたい。

市庁舎の一本化について

①いつを目処にしているのか。

◆市長

現庁舎に耐震性が無いこと、業務遂行の非効率など問題が多く、一本化を進めたい。具体的なスケジュールは示せない段階で、市民の意見を頂きながら進めたい。

②庁舎建設には広大な土地、費用、利便が必要であり、他の施設を借りることは検討していないのか。

◆市長

現在どこに建てるかも決まっていないので、財政負担がどの程度になるのかは示せない段階です。

安心できる市民生活を



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

ランドマーク構想は、

全市・全市民の合意で

一旦、旧下呂館跡地を含むランドマーク構想は白紙として、そのうえで全市・全市民の合意のもとに、新しい下呂市のまちづくりをすることを求める。

◆経営管理部長

下呂館跡地の利用計画の例として「ランドマーク構想」をお話ししました。当該用地取得はランドマーク構想ではありません。利用計画は、現段階では白紙の状態です。今後検討を進めていきます。

4月の選挙について

投票所再編の検証をどう行うのか

4月の選挙で投票所が27か所へ大幅削減で実施された。有権者が投票しやすいことが一番大切。投票所再編の検証について考えを問う。

◆選挙管理委員長

市民に選挙結果を提供しながら

意見をいただき、より投票しやすい環境づくりと、公正な選挙執行の継続を目指して、どう見直すべきか協議します。見直した点を再度市民に返して、次の選挙につなげます。

原子力発電所の再稼働に反対を

①市長の原子力発電所の再稼働に対する考え方を問う。

◆市長

市は市民の生活を守ることが責務なので、脱原発です。国には新しいエネルギー政策や、国民生活を守る方向性を出して欲しい。

②美濃加茂市が放射能の影響を研究するチームを発足させたが、下呂市でも設置を

◆総務部長

専門的な領域であるため、市単独で研究チームを立ち上げることは、現時点では困難です。

再生可能なエネルギー（小水力・太陽光・木質バイオなど）の導入を強力に推進するための研究・検討チームの設置を

◆経営管理部長

市民や民間事業者と連携して普及・導入を推進する組織づくりは必要です。将来的に、下呂市の推進体制について、民間と検討します。

市民の皆さんの意見を市政に!



2 番
今井 政良 議員

上原・中原出張所について

- ①委託業務へ経緯と現状の対応は
- ◆市民部長

両地区へ説明して、週2営業の出張所より、毎日利用できる方が良いというお話をいただき郵便局への業務委託を進めました。

- ②建物の利用状況と今後の方針は
- ◆市民部長

選挙をはじめ、福祉医療受給者証の更新などに利用しています。このまま業務委託の体制を続けます。

市有地の活用について

遊休土地の売却について現状は？また旧下呂町地内に広場的な公園計画はないのか。

- ◆総務部長

今までも財産の売却を行ってきましたが、今後も順次進めていきます。また、公園計画はありません。

下呂温泉病院、金山病院の跡地利用についての考え方は

- ◆経営管理部長

下呂温泉病院跡地については事業提案により、民間事業者と協力して事業実施するように進めます。金山病院跡地については現時点では白紙です。

障がい者の自立策及び雇用状況は

- ◆福祉部長

就労支援施設の利用者が一般就労に移行できるような取り組みを行います。市内支援学校の卒業生6名のうち3名が就職されました。

災害に強いまちづくり策について

- ①消防団員の現状と団員活動のしやすい環境整備は
- ◆消防長

団員数は条例を下回りますが、OB等による災害支援団員により補強体制がなされています。

- ②土砂災害警戒区域指定状況、災害時の食料の備蓄状況は
- ◆建設部長

土石流危険箇所が447箇所、急傾斜地が598箇所あります。小坂地域では警戒区域の指定が終わり、順次市内で指定をしていきます。

- ◆総務部長

5月現在、非常食28,225食、毛布1,841枚、簡易トイレ134基などを備蓄しています。

振興事務所の課題について



14 番
中野 憲太郎 議員

振興事務所は市民にとって町村役場という立場で身近な行政相談窓口として気軽にきて相談、要望、苦情などを聞いていただける。また災害時においても消防団や自治会との連携があり迅速に対応していただける市民生活に密着している窓口である。しかし振興事務所の規模、機能、職員は年々減少していく事は市民にとっては「寂しくなった」という感情もあります。そこで5つの振興事務所の課題について

- ①修繕要望についての対応は
- ◆各振興事務所長

萩原で278件、小坂で77件、下呂で300件、金山で19件、馬瀬で43件の要望があり、それぞれ危険性などを考慮し対応しています。

- ②災害時の避難所と消火栓の増設計画は
- ◆各振興事務所長

萩原で62ヶ所、小坂で52ヶ所、下呂で52ヶ所、金山に24ヶ所、馬瀬22ヶ所の避難所があります。それぞれ地域で自治会や自主防災組織の訓練で周知をしています。

- ③医療・福祉分野の相談対応は
- ◆各振興事務所長

萩原・金山地域では包括支援センターがあるためそちらでの対応となります。その他の地域では関係機関と連携を取り極力窓口で対応しますが、場合によっては担当部署の職員に訪問してもらうなどの対応をしています。

- ④今後の振興事務所の取り組みは
- ◆各振興事務所長

各地域共にコミュニティの再構築を目指しワークショップを開催し「地域力の強化」に努めていきます。

★特筆事項★

【小坂】旧湯屋小学校の活用について、地元と協議しながら検討していきます。

【金山】「金山町まちづくり協議会」が設立され、住民主導で実施するまちづくり活動が提案される事と期待しています。

【馬瀬】本年度「日本で最も美しい村」連合の資格再審査があり、地域一体となり、馬瀬の地域づくり、夢おこしに努めていきます。